

議員提出議案第3号

岡山大学病院三朝医療センターの存続を求める決議  
このことについて、次のとおり議決を求める。

平成23年9月22日

提出者	三朝町議会議員	山田道治
賛成者	三朝町議会議員	福田茂樹
賛成者	三朝町議会議員	藤井克孝
賛成者	三朝町議会議員	清水成眞
賛成者	三朝町議会議員	遠藤勝太郎

岡山大学病院三朝医療センターの存続を求める決議

岡山大学病院三朝医療センターは、昭和12年に三朝村から土地、建物の提供を受け、昭和14年に岡山医科大学三朝温泉療養所として発足、その後、医学部付属病院三朝分院となり、地域医療の一翼を担ってきました。平成14年には国立大学附属病院の見直しにより、旧総務庁から廃止勧告を受けましたが、これを取り切り、新たな医療機関として再生を果たしております。

この三朝医療センターは、世界屈指のラジウム温泉を活用した温泉適応疾患の診療と、長年の研究が重ねられ信頼できる医療機関であることが認知され、現在県外を含めた町内外にあまり知られるものになっています。

このように全国から注目されている医療・研究機関を閉鎖することは国家の損失であり、将来に禍根を残すこととなります。

また、三朝町では街づくりの戦略的施策として現代湯治を始めたばかりであり、当センターの廃止は本町の基幹産業であります観光産業の根幹を揺るがし、ひいては三朝町の存亡に関わるものであり到底容認することはできません。

ここに三朝町民のみならず県外を含めた町内外の患者や家族の声と合わせて、三朝町議会は岡山大学病院三朝医療センターの存続を強く求めることを決議する。

平成 23 年 9 月 22 日

鳥取県東伯郡三朝町議会